

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2019 年 7 月 31 日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市南区吉祥院石原上川原町1-2	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 京都生活協同組合 専務理事 大島 芳和

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	KESステップ2SR
適 用 範 囲	洛北支部他9支部、コープ下鴨他17店舗、福祉事業部、クオレ案内センター、本部事務所
導 入 年 月 日	2014年 10月 1日
認 証 番 号	KES2SR-0007
基 本 方 針	(1) 地球温暖化防止対策として、CO2排出削減のためにエネルギー使用量削減と再生可能エネルギーの活用に取り組みます。(2) 環境に配慮した商品の取り扱いと普及をすすめます。(3) 廃棄物の発生抑制、再資源化をすすめます。(4) 資源や資材の有効活用をすすめるとともに、環境に配慮した資材の購入をすすめます。(5) 地域社会の要望にもとづいた施設見学や研修等の受け入れや、学習会の実施に取り組みます。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	CO2排出総量を2020年までに、05年対比で15%削減します。18年度は15年度比±0%の削減を目指します。環境配慮商品の普及（供給数量15年度比120%）。食品リサイクル率の向上（45%）。リサイクルの回収総量の向上（15年度比105%増）。タブレット等を活用した会議をすすめペーパーレス化を推進する。
目標を達成するための取組の内容	店舗リニューアルはない。店舗省エネチューニングの実施。配送車両の配送コース改善。
目標を達成するための取組の進捗状況	店舗省エネチューニングの実施している。配送車両の配送コース改善を実施している。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	店舗の排出量は前年比と同じように推移している。配達車両の燃料抑制が課題である。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について、上部団体（日本生協連）からの情報をもとに確認を行なっている。各事業所での順守状況については、年1回確認を行っている。これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	ISO9001に準拠した業務マネジメントシステムの稼働に伴い、10年度より業務マネジメントシステムへ文書類の統合を行った。文書類については年1回見直しを行うこととしている。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。